

コード	103020301
記入日:	H22.5.31

課コード	118
課名	土木課
課長名	石司貴英
担当者	坂田 満

事務事業途中評価表

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	道路台帳整備事業費
----------	-----------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	8
施策コード	103	施策名称	しさを支える交通基盤づくり	項コード	2
基本事業コード	10302	基本事業名称	安全で快適な道路整備	目コード	1
事務事業コード	1030203	事務事業名称	土木橋りょう総務管理費	細目コード	1016
関連計画	新上五島町振興計画	法令・条例規則等	道路法		

計画(PLAN) ※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標				
(対象1) 新上五島町が管理する道路の利用者 (対象2) 町民		(対象指標1) 1,359 路線 (対象指標2) 23,719 人(H21. 4. 1)				
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	道路台帳を整備することで、道路の維持管理を円滑に行う。 台帳整備 34 路線 事業費 2,705 千円	① ***** 台帳整備路線数	***** 34 路線	***** 100%	***** 台帳整備路線数34件÷ 新規台帳整備路線数34 件	***** 平成21年度
		(達成率分析)	計画どおり達成できた。			
		② *****	*****	*****	*****	*****
		(達成率分析)				
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
道路法で定められている道路台帳は、道路を維持及び管理するために作成し、道路の円滑な維持管理を図る。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		① ***** 台帳管理日数	***** 365日	***** 100%	***** 台帳管理日数365日÷ 管理すべき日数365日	***** 平成21年度
		(達成率分析)	事業は計画どおり進んでいる。			
		② *****	*****	*****	*****	*****
		(達成率分析)				

実施(DO) ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		平成20年度以前	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	① 件	146	146	112	34	34					
	②										
成果指標	① 日	365	365	365	365	365					
	②										
総事業費C(A+B)	千円	27,080	26,785	20,580	6,500	6,205					
直接事業費A	千円	16,580	16,285	13,580	3,000	2,705					
人件費B	千円	10,500	10,500	7,000	3,500	3,500					
内訳	従事職員数	人	1.5	1.5	1.0	0.5	0.5				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	27,080	26,785	20,580	6,500	6,205					

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	道路管理者である町が行うべきものである。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	道路の安全性・利便性については、普遍的なものであり町が行う必要がある。
	事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	道路台帳の整備であり適切である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	単年度毎の成果は得られている。
	成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	ほぼ計画どおり事業が進捗しているので特別向上させる必要はない。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	法律で台帳整備が義務付けられている。また適切な道路管理、維持が出来ない。
	類似事業との整理統合はできませんか。	●できる ●できない	理由	単一の事業であり、他の事業との整理統合はできない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	必要最小限の経費で実施しているため削減は出来ない。
	人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	現在の人員を削減することは事業の推進上できない。
	受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	道路管理者である町が行うべきもので受益者負担は発生しない。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ計画を見直す必要はない。
		有効性	住民の利便性及び道路の安全性を向上させるための事業であり有効である。
		効率性	最小の経費で最大の効果をあげる設計となっており、今のところ経費を削減することはできない。
		課題に向けた改善策	特になし
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり。
		有効性	道路の維持管理上、また地方交付税の基礎数値となるもので遺漏がないよう適正な整備に努めること。
		効率性	事業経費の執行については適正に行うこと。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。